

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

3年生の春にオープンキャンパスに行き、同志社女子大学の授業のシステムにひかれたということが志望理由の一つです。そして、オープンキャンパスに行って以降の模試で志望校の一つとして書くようになり、判定も良かったため受験を決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

文化祭で部活とクラスの出し物で忙しかったので、受験勉強はあまりできていませんでした。志望校もはっきりとは決まっていなかったのですが、とにかくスキマ時間を有効活用して英単語や古典単語などの基礎を徹底しました。さらに学校に朝の7時半から夜の9時まで残って勉強時間を確保していました。

〔夏休み〕

家では集中できないと思ったので、1学期と同様に毎日朝から夜の9時まで学校に行って勉強していました。この時から国公立大学の推薦入試を考えていたので、それに向けての対策をしていました。この対策とセンターの勉強を並行してやっていたので夏休みの期間は同志社女子大学の勉強はあまり手をつけられませんでした。

〔2学期～入試直前〕

10月頃までは授業にしっかりついていき、その後からは国公立大学の推薦入試とセンター試験に向けての対策を全力でやりました。そして、国公立大学の推薦入試で不合格になってから、オープンキャンパスでもらった同志社女子大学の過去問をひたすら解いていました。同志社女子大学の試験を勉強するにあたってセンター試験でやった勉強の基礎ができていたのでスムーズに一般試験の勉強ができました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は軽音楽部に入っていて、一学期に行われる文化祭に向けて忙しくしており、受験勉強には多くの時間は割けられませんでした。そして、夜に遅くまで起きられなかったため朝早く学校に行って勉強をしていました。特に電車の時間は英単語を徹底的に覚えていました。健康面に関しては、センター試験が終わってからインフルエンザにかかってしまいました。原因は友人がインフルエンザにかかっていたからです。まずは自分も対策をすることも大事だと思いますが、周りの人にも気を付けたほうがいいと思います。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

第一志望の大学に受かるのは大事だと思いますが、残念ながら上手くいかない時もあると思うので、この大学なら行ってもいいと思うところをオープンキャンパス等で探すべきだと思います。